並びかえてことばを作ろう

小学校 1年

大東市立氷野小学校

教科	国語	単元名	ことばあそび

本時で育む主な情報活用能力

K－STEP1

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。

本時のねらい

・平仮名を並びかえて言葉を作ることができる。

本時における１人１台端末の活用方法とそのねらい

・SKYMENU Cloud の発表ノートを使って、平仮名を当てはめて、言葉を作る活動を行う。
・タブレット端末の画面を操作しながら平仮名を当てはめることで、文字で書き出していくより、容易に並びかえることができるので、児童が意欲的に取り組むことができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・発表ノート（SKYMENU Cloud）・大型 TV

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 （10 分）	〇前時の復習をする。 〇本時のめあてを確認する。　【写真１】 めあて：たくさんのことばをつくってみよう。	・前時までの学習内容を振り返るために、前時で取り組んだ児童のプリントを、大型テレビに映す。
展開 （25 分）	〇端末上の平仮名を並びかえて言葉を作る。（三文字） ※三文字の言葉づくりが終わった児童から、四文字の言葉を作る。　【写真２】 〇ペアで交流をする。	・発表ノートを使って、3×3（4×4）のマスに文字を当てはめて言葉を作っていく。 ・タブレット端末の画面を見せ合い、どんな言葉を作ったか交流する。
まとめ （10 分）	〇全体共有をする。　【写真３】 〇ふりかえりをする。	・他の児童が作った言葉を自席から見ることができるように、提出箱に提出された発表ノートを学級で共有する。

１人１台端末を活用した活動の様子

【写真１】子どもに配付した画面と同様のものを活用して丁寧に説明。

【写真２】個人思考では教科書も使いながら考えてもよい。（自己調整）

【写真３】端末を見ながら全員の考えに触れる。

児童生徒の反応や変容

・パズルのように文字を並びかえる活動を通し、言葉に親しむ姿が見られた。また、並びかえる作業以外にも実際に指で文字を書く児童もおり、児童に応じた指導を今後も続けていく中で、端末を活用する上で１年生なりに自分に合ったやり方を選択できるようにしていきたい。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・紙媒体ではなく、発表ノートを使用することで、書く・消すの作業がなくなり、多くの言葉に触れることができたと感じた。また、一度使った文字もコピー機能を利用すれば再度使える利点を生かして、さらに語彙数を増やしていきたいと考える。
・交流場面では、ペアのみだと新しい言葉に触れる機会が減少するが、発表ノート上の提出箱を活用して自席から学級全員の考えを見ることができるため、交流時間の短縮と、質の向上につながると感じた。